

2022年11月現在。日本には約45万社のものづくり工場があります。

その中で黒字経営をできている工場は約55%。

日本経済を支えてきたものづくり工場が今、厳しい状況になっています。

---



A man with a beard, wearing a light blue long-sleeved button-down shirt, khaki trousers, and a brown belt, stands in a warehouse aisle. He is holding a mobile phone to his ear with his right hand. The aisle is lined with tall metal shelving units filled with various items, including large rolls of material wrapped in silver protective film. The lighting is bright, typical of an industrial setting.

私自身、17年10カ月の工場勤務の中で  
現場責任者を務めた経験から  
「この状況をなんとかしたい」という思いから  
工場黒字化コンサルティングをスタートしました。

そして今まで弊社は、

35社(※令和4年10月時点の実績)の工場のコンサルティングをし  
100%の確率で赤字から黒字経営に導いてきました。

・射出成形工場 赤字 ⇒ 10ヵ月で黒字化 600万円/月

・機械加工工場 赤字 ⇒ 8ヵ月で黒字化 600万円/月

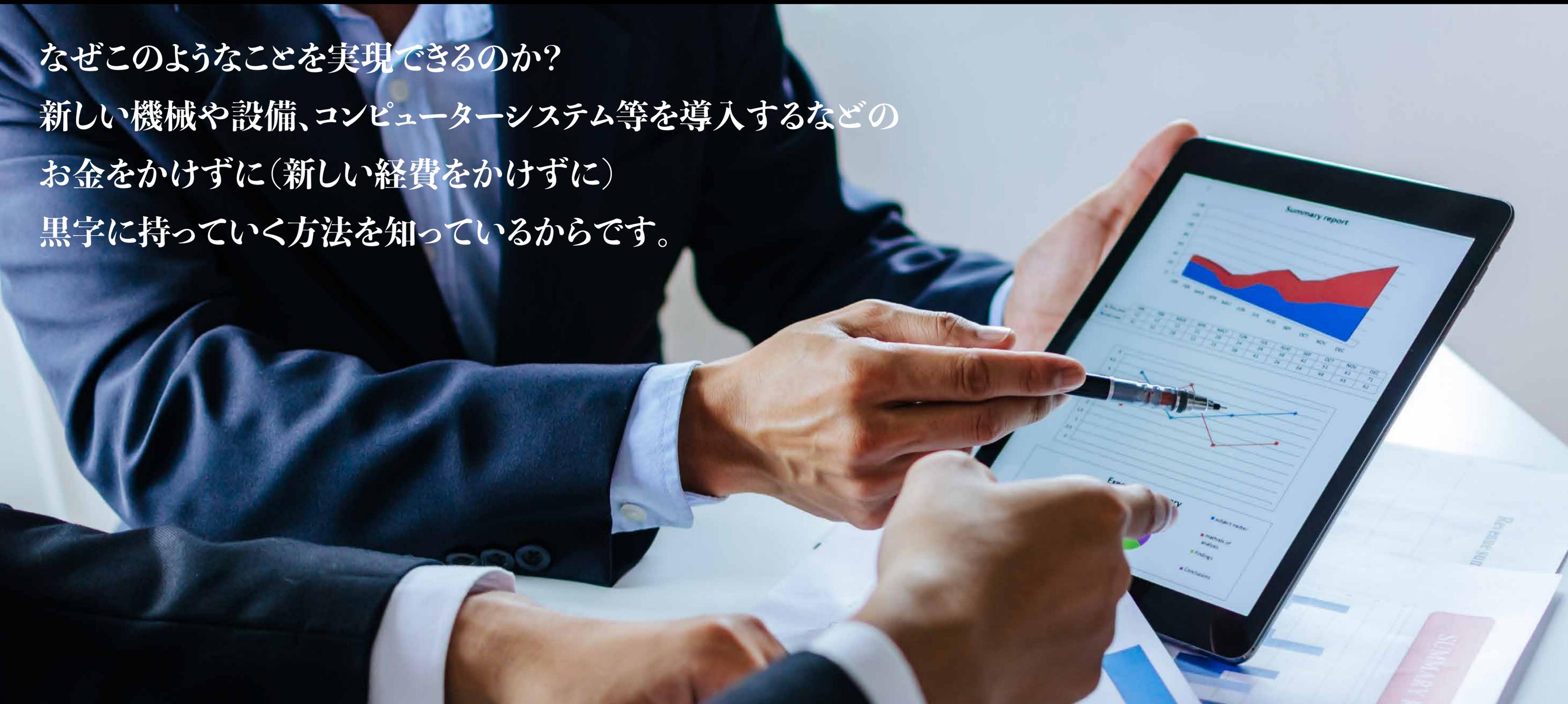
・板金加工工場 赤字 ⇒ 6ヵ月で黒字化 500万円/月 といったように。

なぜこのようなことを実現できるのか？

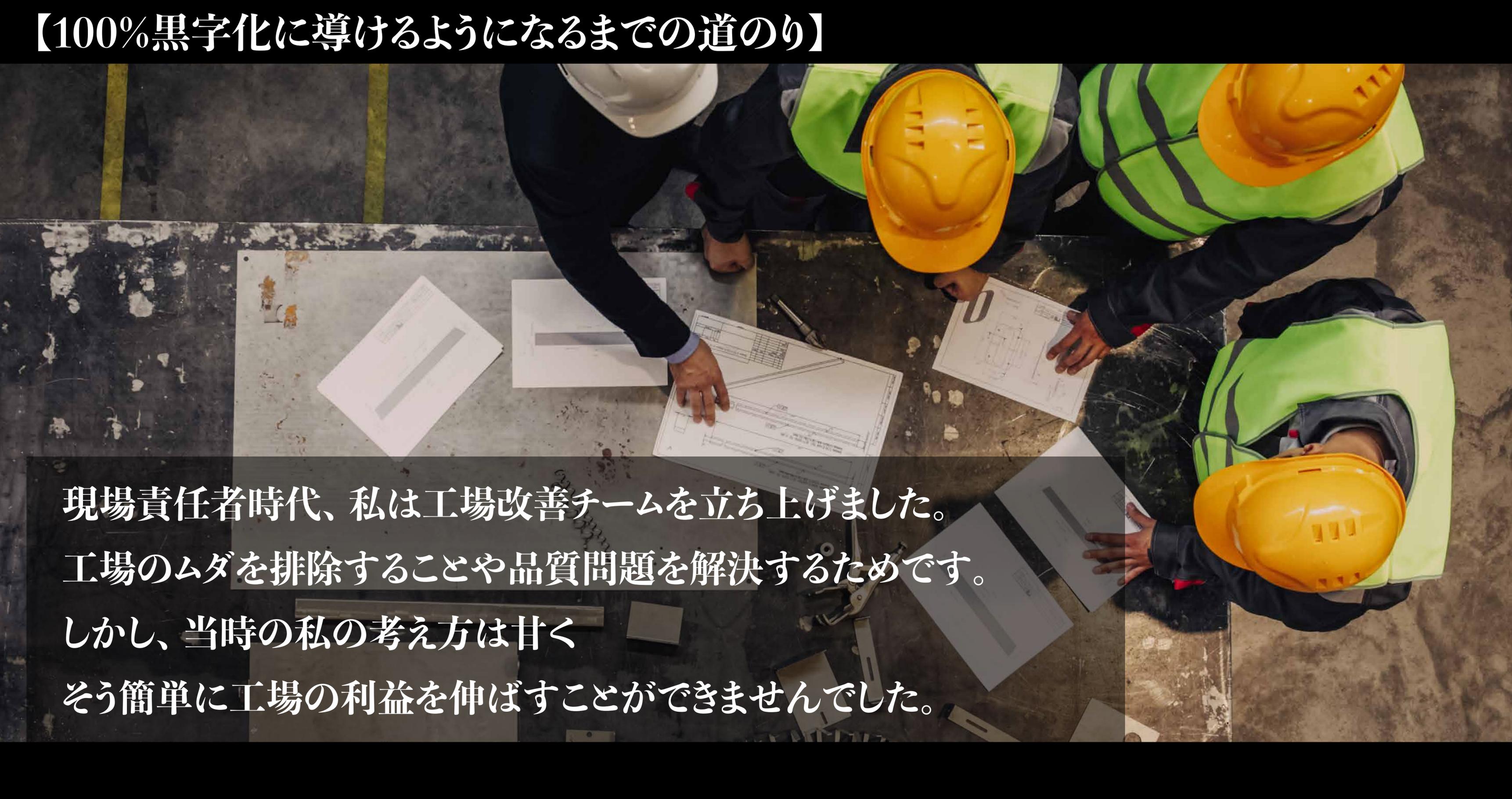
新しい機械や設備、コンピューターシステム等を導入するなどの

お金をかけずに（新しい経費をかけずに）

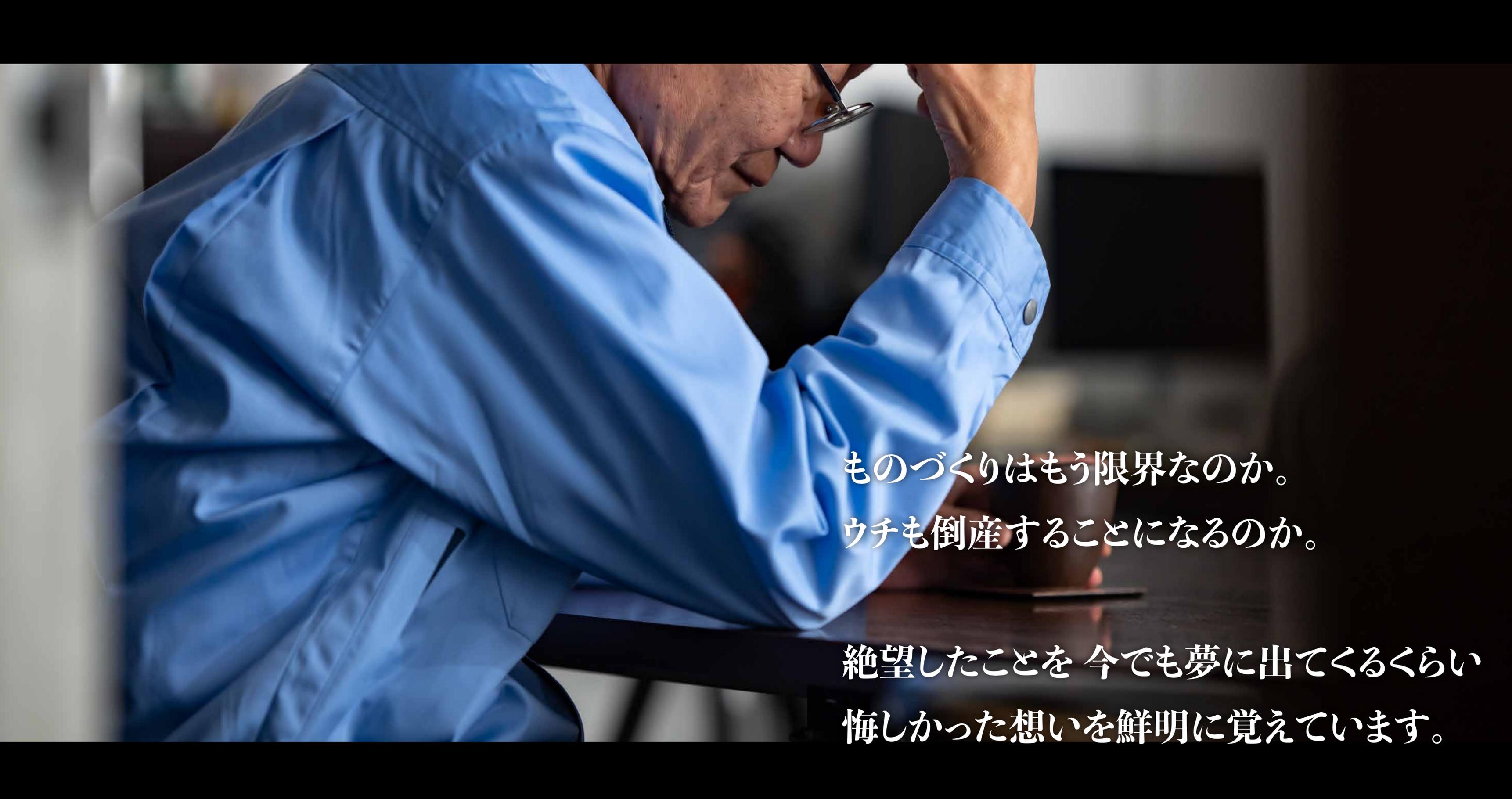
黒字に持っていく方法を知っているからです。



# 【100%黒字化に導けるようになるまでの道のり】



現場責任者時代、私は工場改善チームを立ち上げました。  
工場のムダを排除することや品質問題を解決するためです。  
しかし、当時の私の考え方は甘く  
そう簡単に工場の利益を伸ばすことができませんでした。

A man wearing a light blue long-sleeved shirt and glasses is leaning over a dark table, looking intently at a laptop screen. His expression is one of deep thought or concern. The background is blurred, suggesting an office or workshop environment.

ものづくりはもう限界なのか。  
ウチも倒産することになるのか。

絶望したことを今でも夢に出てくるくらい  
悔しかった想いを鮮明に覚えています。

その後、「なんとか黒字にする」そう奮い立った私は、  
工場管理や品質管理の実務経験を積みながら、  
技術者最高の資格である  
技術士(経営工学)や品質管理検定1級を取得。

トヨタ生産方式を確立した  
大野耐一先生の愛弟子に指導を志願し  
モノづくり哲学の真髓を学んできました。

そして品質問題、設備トラブル、ムダの排除など、  
毎月数十万円のコスト削減を実現します。



A man in a dark suit is seen from the back, gesturing with his right hand as he speaks to a group of people seated in a meeting room. The room has large windows with blinds, and the background is softly blurred. The text is overlaid on the lower left portion of the image.

「このノウハウを多くの現場責任者に伝えたい！」  
思った私はある技術士の先生に出会いました。  
近江堅一先生(技術士、経営工学)です。

---



近江氏は、トヨタ生産方式の思想を具現化し、  
お金をかけずに工場の生産性を上げることで  
利益を生み出す工場改革手法、  
「中小製造業向けトヨタ生産方式」(FL法)を確立した人物です。

本業の傍ら、月に数回の指導に同行させてもらうようになりました。



さて、ここであなたに1つ質問があります。

「あなたは  
黒字化経営を実現したいですか？」

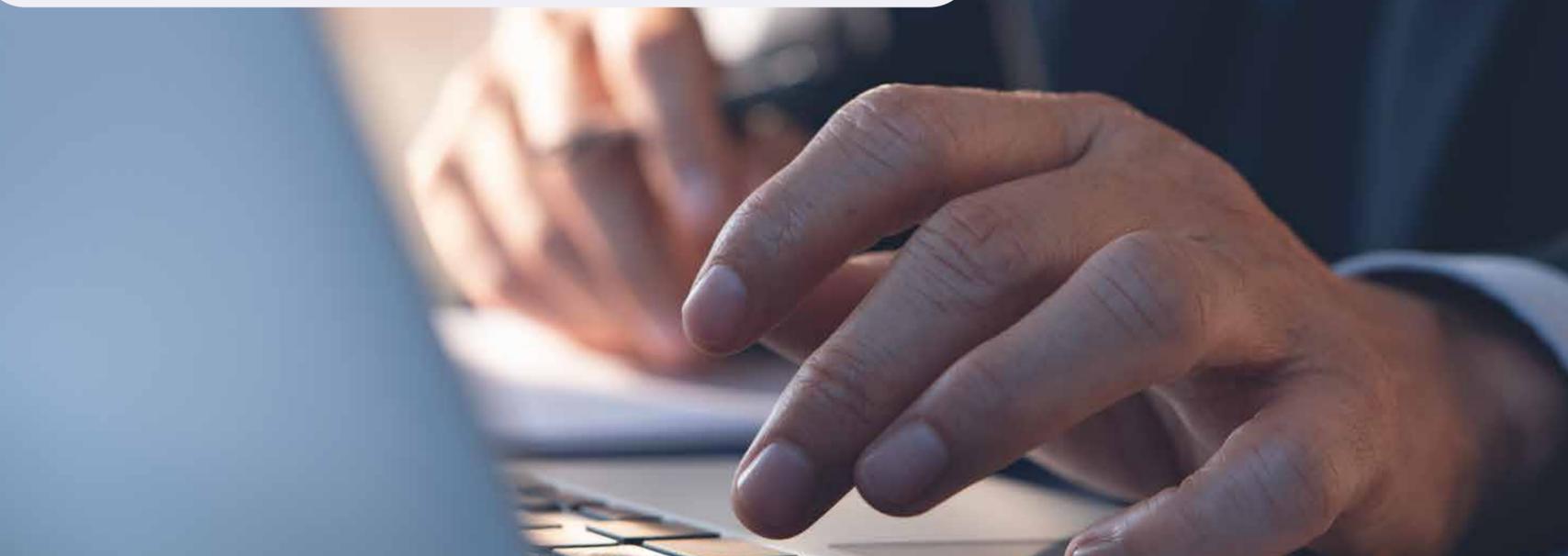
と、ということです。

生半可な想いの方はここでお別れです。  
ここから先は、

“「利益が出続ける仕組みを作る」”

そんな覚悟を持った人だけ読み進めて下さい。

・ 経営者自らが努力をできる



・ 利益を生み出さない時間がゼロ



# 黒字化経営をできる工場4つの共通点

・ 作業者のやる気を引き出す仕組みがある



・ 管理者が利益の出る方法を熟知している



100%工場が  
利益を出せるようになる  
3ステップ



### Step 01

100%黒字を実現する  
「生産性の正しい目標設定」



### Step 02

無駄な時間を1秒も作らない  
「タイムグローイング」



### Step 03

半自動的に工場が回転する  
「リーダー・マネジメント」

# 利益が増え続ける工場を作る唯一無二の道筋

## Step 01

100%黒字を実現する  
「生産性の正しい目標設定」

- ① 生産性目標を工場内で統一
- ② 若手中心の工場改革チーム

## Step 02

無駄な時間を1秒も作らない  
「タイムグローイング」

- ③ 非生産時間の断捨離
- ④ 計画通りに  
ものが作れる生産体制の確立

## Step 03

半自動的に工場が回転する  
「リーダー・マネジメント」

- ⑤ リーダーが現場を離れられる進捗  
管理システム導入
- ⑥ 現場の生産性が上がり続ける  
「モノ作りPDCA」導入

## ~弊社が社長に求めるコト~

「利益を増やし続ける工場を作る」  
この未来を実現するために必要な心得があります。

- ・「おぼけ退治」に本気で取り組むコト
- ・社長自身が主体的に行動するコト

この2つです。

なぜなら、この2つだけを約束してもらえれば  
私たちは工場を黒字化に確実に持っていけるからです。

「うちの会社は特殊だからな…」と  
経営者様が研修会や講演でよく口にしますが、  
例外は1つとしてなく「どの会社も問題の本質は同じ」です。

なぜなら、

「注文を受ける」  
「人がものを作って出荷する」という  
工場管理の視点では全く同じだからです。

「工場管理」の正しい方法さえ知れば  
あとは社長自らが主体的に行動することで利益を出し続ける工場を作ることができます。

## ～工場の利益を出し続ける為のサポート～

---

利益が増え続ける方法を教えます。あとは、社長さん頑張ってください。  
これでは、結果は出ません。

弊社は、利益が続ける仕組みを作るまでに必要な6ヶ月間  
私が自ら毎月工場に足を運び、社長とともに二人三脚で本気で従業員さんとも向き合います。

「  
ともに進み  
ともに利益を増やし続ける  
仕組みを作る。」  
」



コレが100%黒字化を実現する我々の  
最大限のサポートになります。

さて、あなたは会社を。工場を。  
私たちとともに、どのような場所にしていきたいですか？

---

従業員も。その家族も。

関わる人全員が満たされる準備は全て整いました。

---

# 週休2日で利益率300%を約束できる工場コンサルティング



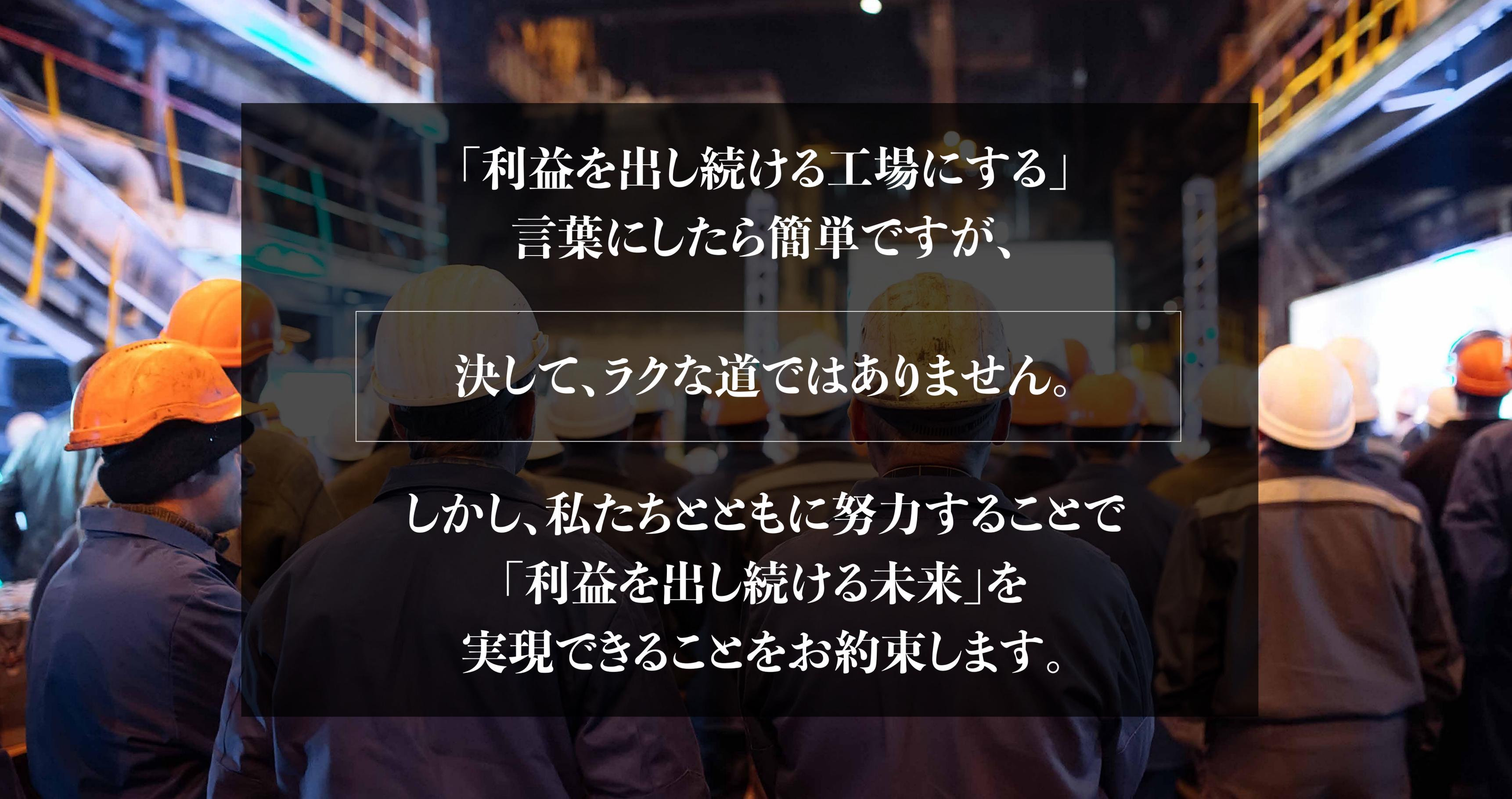
黒字化最短6ヶ月コース ○○万円(税抜) ※25万円/回\*6ヶ月

# お支払い方法

## 銀行一括振込

※分割振込、カード支払い相談可





「利益を出し続ける工場にする」  
言葉にしたら簡単ですが、

決して、ラクな道ではありません。

しかし、私たちとともに努力することで  
「利益を出し続ける未来」を  
実現できることをお約束します。

大切な家族。大切な従業員。大切な取引先。

関わる人全員を  
さらに豊かにできる選択を  
今のあなたにはできます。



ともに、  
「ものづくり」に明るい未来を。

